

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆臨時議会 新正副議長が決まる … 2 P
- ◆平成25年度予算質疑 …… 4 P
- ◆一般質問 …… 8 P
- ◆議会改革視察研修レポート …… 14 P
- ◆議会日誌・表彰など …… 15 P
- ◆町政へ一言 …… 16 P

2013 6 / 1

第125号



群馬の水郷 揚舟 谷田川めぐり  
ゆったり流れる新緑の春風を実感

# 議長・副議長が選出されました

議長に

野中嘉之氏

副議長に

黒野一郎氏

平成25年第1回板倉町議会臨時会が5月10日(金)に開催されました。

正副議長の選挙が行われ、議長に野中嘉之氏が再選、副議長に黒野一郎氏が選出されました。また、これと同時に各常任委員会委員の選任及び委員長・副委員長の選任、一部事務組合議会議員の選挙も行われました。

この他には、町から提案された監査委員の選任について、青木秀夫氏が全会一致で同意されるとともに、2件の専決処分事項が承認されました。

- ◆同意事項◆
- 監査委員の選任
- ◆専決処分事項◆
- 板倉町税条例の一部改正
- 板倉町国民健康保険税条例の一部改正

## 議長・副議長就任あいさつ



副議長 黒野一郎  
生活の安心、安全を確保  
山積する課題を全力で  
町民とふれあえる議会へ

議長 野中嘉之  
議会基本条例の制定に向けて  
最小の経費で最大の効果を  
雇用の確保、税収のアップ

5月10日に開かれた臨時議会におきまして、再び議長に選任され、引き続き重責を担うことになりました。身の引き締まる思いで一杯です。さて、これまでも議会改革に取り組んでまいりましたが、議会の活性化はもとより、町民にとって身近な議会となるよう一層努めてまいりたいと存じます。現在、町議会の活動の指針となる議会基本条例の制定に向けて、検討を重ねているところであり、近く条例制定できるものと思います。無論条例制定で終わることなく、今後はできることから一つ一つ実行していきたいと思っています。議会も目指すところ

は、首長と同じ住民の福祉向上であり、また安心で安全な住みよい元気な町にすることです。私達議会も切磋琢磨し、監視機能の強化を図り、最小の経費で最大の効果が得られるよう、努めていきたいと思っています。現在、新役場庁舎建設問題をはじめ、雇用の確保や税収のアップに繋がる企業誘致、そして急激に進展している少子高齢化と人口減少社会問題への対応等、山積する課題に町当局と一緒に全力で取り組んでいきたいと思っています。町民みなさまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。つといたします。

# 議会構成が決まりました

## 議会構成人事案件

### ●板倉町議会議長の選挙

5月10日(金)臨時会において野中嘉之議長から辞職願が提出され、議長の辞職が議会で許可されたのち、改めて議員投票が行われました。その結果、再度、野中嘉之氏が議長に当選しました。

### ●板倉町議会副議長の選挙

議長選挙に続いて、野中嘉之新議長のもと、小森谷幸雄副議長の辞職願が許可され選挙を行いました。議員投票の結果、黒野一郎氏が副議長に当選しました。

### ●常任委員会委員の選任

板倉町議会には2つの常任委員会がありますが、各委員は議長が会議に諮り指名されることとなっています。議員の申し合わせにより、各議員の希望をとり、選挙委員によって協議の結果、議長が指名しました。結果は下表のとおりです。

### ●常任委員長及び副委員長の選任

委員会条例の規定により、各委員会互選のうえ、選任されました。

### ●議会運営委員の選任

議員申し合わせにより、各常任委員会より3名ずつ(ただし1名は常任委員長)を選任し、議長が会議に諮って指名しました。

### ●一部事務組合議会議員の選挙

- 一部事務組合として、次の4つの組合があります。
- ① 邑楽館林医療事務組合
- ② 館林衛生施設組合
- ③ 館林地区消防組合
- ④ 東毛広域市町村圏振興整備組合

これらの一部事務組合議会選挙については、議会運営委員会にて選考し、議長の指名推薦により各組合議会議員が選出されました。

## 議会構成

議長 野中嘉之  
副議長 黒野一郎

### 議会運営委員会

委員長	秋山 豊子
副委員長	青木 秀夫
委員	市川 初江
委員	延山 宗一
委員	川野辺 達也
委員	今村 好市

### 産業建設生活常任委員会

委員長	今村 好市
副委員長	荒井 英世
委員	青木 秀夫
委員	黒野 一郎
委員	小森谷 幸雄
委員	延山 宗一

### 総務文教福祉常任委員会

委員長	川野辺 達也
副委員長	森田 義昭
委員	荻野 美友
委員	秋山 豊子
委員	市川 初江
委員	野中 嘉之

## 一部事務組合選出議員

### ●邑楽館林医療事務組合議会議員

青木 秀夫  
今村 好市

### ●館林衛生施設組合議会議員

延山 宗一  
荒井 英世

### ●館林地区消防組合議会議員

黒野 一郎  
森田 義昭

### ●東毛広域市町村圏振興整備組合議会議員

野中 嘉之

# 平成25年度予算(総額90億6,362万円)を 全会一致で可決成立しました

平成25年第1回定例会が3月11日から21日まで11日間の会期で開かれました。この定例会は、平成25年度一般会計及び特別会計の予算審議が主なものです。条例の一部改正などを含む35議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。なお、各種団体から提出された陳情2件については、各議員へ資料配布として報告しました。  
紙面では、定例会での予算質疑及び一般質問の主な内容についてお伝えします。

平成25年度予算

会計区分		本年度	前年度
一般会計		51億2,400万円	51億4,800万円
特別会計	後期高齢者医療	1億2,484万円	1億3,619万円
	国民健康保険	19億7,112万円	20億0,561万円
	介護保険	11億2,129万円	11億1,717万円
	下水道事業	1億8,366万円	1億9,087万円
水道事業(※)		5億3,871万円	5億0,417万円
合 計		90億6,362万円	91億0,201万円

※収益的支出及び資本的支出の合計額

## 一般会計51億2,400万円

### 支出の主な内容

- 総務費 6億9,900万円
  - ①産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業 ②庁内情報化事業 ③住宅用太陽光発電システム設置補助事業 ④参議院議員選挙
- 民生費 15億5,026万円
  - ①児童手当支給事業 ②福祉医療費支給事業 ③学童保育整備運営委託事業
- 衛生費 5億3,404万円
  - ①子宮頸がん等ワクチン接種事業 ②養育医療費支給事業 ③妊婦・乳幼児健診事業
- 農林水産業費 2億3,004万円
  - ①経営体育成支援事業 ②五箇谷地区ほ場整備事業 ③農業基盤整備促進事業
- 商工費 7,988万円
  - ①群馬の水郷管理事業 ②企業立地促進事業
- 土木費 5億6,427万円
  - ①町単独道路整備事業 ②八間樋橋整備事業 ③橋梁長寿命化事業
- 消防費 2億8,753万円
  - ①館林地区消防組合負担金 ②防災対策事業
- 教育費 5億8,394万円
  - ①小中学校情報機器(パソコン等)整備事業 ②南小校舎・体育館浄化槽改修事業 ③中学校プール解体事業
- 公債費 4億7,473万円
  - ①長期債償還元金及び利子

### 新年度予算と中期事業推進計画との整合性を問う

今村議員

中期事業推進計画では208事業が計画されている。新年度予算ではどのような事業、予算が計上されているのか。また新規事業として8事業が計画されたが、事業調整を行い事業の見直しや廃止を行わなければ財政計画との整合性が図れないと思うが説明を聞きたい。

### 企画財政課長

全体では208事業で18億9,200万円の予算規模になっています。新規事業8事業が加わりますが、毎年ローリングをする中で財政シミュレーションをかけて展開しています。さらに各課の事業計画による予算要求がされますがきちんと事業を精査し進めています。

### 陳情道路の未整備と幹線道路の整備率は

今村議員

平成25年度は町道の整備計画で21路線を着手する予定であるが、陳情路線はどのくら

### 都市建設課長

い残っているのか。また集落と集落を結ぶ幹線道路の整備率はどのくらいなのか。この幹線道路については、中学生が利用する通学路も含まれていると思うが整備率はどのくらいなのか。

### 産業振興課長

陳情路線は72路線がありまして、この内着手をしている路線が26路線、未着手路線が46路線になっています。幹線道路及び町道関係の通学道路についてはほぼ整備されています。また通学道路については、関係機関で安全点検を実施して町の管轄以外の国道、県道についても整備の要望を行っています。

### 学校支援隊事業は児童生徒の健全育成

荒井議員

板倉町地域支援モデル事業についての公募方法だが、先進事例を具体的に掲げて周知していただきたい。またどう

### 企画財政課長

いった事業を想定しているのか伺いたい。さらに、学校支援隊事業とあるが、これは学校、家庭と地域が一体となつて児童生徒の健全育成を行う大切な事業であると思っている。その具体的な活動内容を教えてほしい。

### 教育委員会事務局長

地域支援モデル事業は、広報紙、ホームページ及び区長会等を通じてお知らせし募集を行います。どんな事業が対象になるのかも含めて例示していきたいと考えています。3年間の試行ということで行うので、4年目以降にはまちづくり基本条例の制定もできるように発展させたいという考えがあります。

各学校ごとに子ども達を通じてボランティアの募集を行っているのは、本の読み聞かせです。特徴的なものとして、北小では英語学習の補助員として協力をいただいています。各校のニーズにあわせて授業以外でボランティアの方に何らかの教育活動をお願いしている状況です。

## 【予算質疑】

議会最終日の3月21日(木)に新年度予算について活発な質疑が行われました。

25年度予算の使い道

道路整備(陳情路線)、

町の財政状況、教育

環境、福祉、広域ご

み処理など



▲可燃ごみから年間1,200トンが生産

## 資源化センターの老朽化 広域ごみ処理の見直しは

**Q** 小森谷議員

資源化センターの老朽化で修理等に多額な予算が費やされている状況である。1市2町で行う広域ごみ処理への移行はまだ先であるが見通しはどうか。また固形燃料RDFの品質低下の原因ということでラップ系を分別しているが、品質はどのような状況なのか。

**A** 環境水道課長

資源化センターの改修費用については、中央制御室の改修で部分的に更新して対応するため、5,000万円の費用がかかります。平成29年度

には1市2町の広域ごみ処理を行う計画が決まっているのでできる限り費用をかけないで節減しながら運営したいと考えています。また固形燃料RDFに含まれる塩ビ濃度が高いと焼却施設の炉を傷めるということでラップ系の分別を行ってきています。そのため、固形燃料の品質が良くなっていると感じています。

## 農業の制度資金利用者 なぜ減少傾向なのか

**Q** 延山議員

固形燃料RDFは年間1,200トンが生産されているが、燃料費が高くなる分、製品もその分高く販売できるのかと思うがどうか。また

農業関係の制度資金を利用する方が少なくなってきたのはなぜか。

**A** 環境水道課長

固形燃料RDFは、1トン当たり500円で買い取っていたのですが、運搬費の支出が高くなっています。北海道と栃木県のパルプ製紙工場2か所へ搬送していますが、北海道へはトン当たり6,000円、栃木県へはトン当たり3,000円の費用がかかっています。平成25年度には、受け入れ業者にもっと高く買ってもらえるよう期待しています。

**A** 産業振興課長

農業の制度資金を借りる方が少なくなってきたのは事実であります。要因としては、手続きが非常に面倒で制度を利用しなくても金利がとて安く借りられることと感じています。

## 小中学校のパソコン 買い替えをし充実を図る

**Q** 黒野議員

小中学校情報機器（パソコン等）整備事業において、3,

400万円の予算が計上されているが、細かい内容を教えてもらいたい。また中学校のプール解体が予定されているが、解体した後の利用方法はどうか。それから海洋センター体育館の照明は建設当時のままなので暗く、床張りには傷でこぼこになっているが、修繕などの計画はないのか。

**A** 教育委員会事務局長

平成17年度に導入した小学校のパソコンですが、型式も古くなっていますので、小学校4校あわせて175台、中学校は職員用で50台、全体で225台のパソコンの入れ替えを予定しています。続いて、中学校のプールは、25メートル9コースで面積が約1,600㎡となっています。解体後の利用方法ですが、また具体的には決まっています。工事が始まる前までに学校側と協議していきたいと考えています。それから海洋センター体育館の照明と床の件ですが、照明については球切れはすぐ交換することで対応していますので、現在のままで対応したいと考えています。床につきましては、状況を確認

認し改修等を検討していききたいと思っています。

## 特定不妊治療を受ける 利用者はどれくらい

**Q** 市川議員

特定不妊治療費助成事業について、平成24年度利用者は何人いたのか。またどのように利用者へ周知しているのか。町単独道路整備事業について、平成21年度3,000万円の予算だったものが、栗原町政になってから3倍以上の予算を計上され、平成25年度は1億1,000万円の予算が計上されている。残りの陳情路線が46路線となったが、あと2年間くらいで完了することができののか伺いたい。

**A** 健康介護課長

平成24年度は6件の申請がありました。一人年間10万円の限度額になっています。周知方法ですが、町ではホームページ等でしか周知はしていませんが、全国的な助成制度ですので病院から周知をされていると思っています。

**A** 都市建設課長

陳情の未着手路線が46路線

予算について（全会一致）

◆平成25年度板倉町後期高齢者医療特別会計予算について（全会一致）

◆平成25年度板倉町国民健康保険特別会計予算について（全会一致）

◆平成25年度板倉町介護保険特別会計予算について（全会一致）

◆平成25年度板倉町下水道事業特別会計予算について（全会一致）

◆平成25年度板倉町水道事業会計予算について（全会一致）

陳情

3月11日議会初日、各種団体から提出された陳情2件については、各議員へ資料配布として報告しました。

◆年金2・5%削減の中止を求める意見書の陳情

陳情者

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長 女屋定俊

館林邑楽支部長 大西和夫

◆群馬県建設業協会館林支部からの要望書

陳情者

群馬県建設業協会

館林支部長 原 初次

## ◆平成25年度予算質疑ほか

## 住民健診事業、どこに 重点をおき進めるのか

**Q** 秋山議員

住民健診事業においてどこに重点をおいて進めていくのか。健康づくり21の第2次がスタートしたが、どういった取り組みを行うのか。次に予

**A** 総務課長

団体が町有バスを使用するためのルールがありまして、燃料費、高速道路料金なども利用者負担で行っています。

## 町有バスの管理運行は どのようにしているの

**Q** 川野辺議員

町有バス管理運行事業で燃料費予算が2万6千円とあるが内容をお聞きしたい。また高速道路料金などはどうしているのか。

**A** 健康介護課長

住民健診受診票の発送方法を全面的に変えています。昨年度までは申込者だけに受診票を送付していたものを今年度から全ての対象者へ受診票を送付する計画です。これ以上の周知方法はないと考えています。住民健診を受ける側の意識改革が薄いように思われますので、受診者に対しての受診意識の改革、高揚等を図っていくものです。健康づくり21の第2次が始まりますが、健康増進法に基づき策定されており。本町も国の方針に沿った形で実施することだと思います。次に、大人の肺炎球菌ワクチンへの対応について、近隣の1市5町で事務レベルで検討を重ねていますが、なかなか実施に踏み切れないところにあります。



## 再確認であるが合併問題 について伺いたい

**Q** 青木議員

板倉町の借金残高は39億円程度、その内の29億円は国の借金である臨時財政対策債だから、実質町の借金は残りの9億円あまりといえる。これは以前に比べると相当好転しているといつてよい。そのため、積極財政を進めることができると思う。町民から一番問われることは合併問題であり再確認であるが、合併について伺いたい。次に保育園事業で公設民営でそらいる保育園が開園して5年ほどになると思う。運営費がどのように変化したのか伺いたい。福祉医療費支給事業について医療費が社会問題化しているなかでどういった内容か聞きたい。

**A** 総務課長

す。引き続き実施するか否かも含めて検討していきたいです。

**A** 町長

合併に対して進んでいないという状況です。アンケート結果を踏まえ慎重に対処しているということでもあります。また議会についても合併問題特別委員会で議会の意思統一も含め議論していたければありがたい。

**A** 福祉課長

設立当初の平成18年度と平成23年度を比較しますと、運営費はほぼ同額で変わっておりません。

**A** 健康介護課長

福祉医療費支給事業については、医療費の自己負担分を公費で負担する制度です。対象者ですが、中学3年生までの子ども、重度心身障害者、母子父子家庭の方が対象になります。この制度は、群馬県独自の事業でありますので、公費負担の部分と自己負担費も含めて医療機関から請求されたものを町で支払う流れであります。

25年度予算

◆平成25年度板倉町一般会計

# 一般質問

議会 2 日目  
3 月 12 日 (火)

## ① 森田 義昭 議員

例会  
定議

3 月

### 震災から2年、当町の防災について問う 小中学校でのいじめ、体罰の実態は



震災の日を契機に  
当町の取り組みについて

問・東日本大震災を契機に、再度当町における防災についての取り組み、水害の場合など、どれくらいの雨量で避難指示が出されるのか。また決壊した場合に何日くらいで水が引くのか。そうなったときに、町としての水や食糧の備蓄等は充分確保されているのか。

答・総務課長 伊勢崎市八斗島に国土交通省の観測所があり、そこで水位を観測し、氾濫危険水位4・9メートルに達し、さらに水位の上昇が見込まれ

る時に避難指示等、具体的な指示が出されるようなシステムになっている。また決壊した場合、水がどれ位で引くのかは国の調査がされており、水位が約50センチ程度で約14日程度と予想されている。町の備蓄状況は、水や食糧等で3日分程度を備えている。財源の関係もあり、防災講習会を通じて個人でも災害への備えをお願いしている。

答・町長 災害に強いまちづくりを目指して、先頭に立つて頑張っていくという方針には変わりはないが、最終的には自分の命は自分で守るという姿勢だけは町民の方々も忘れないでほしい。

いじめについて

問・なくなりそうでなくならないのが「いじめ」問題である。そのような環境を作らせない。学校、保護者、子どもの連携が必要かつ重要かと思うがお聞きしたい。

答・教育長 学校としては、学校生活アンケートを毎月実施している。個々の事案について学校内でチームを作り、取り組んでいる。できるだけ早いうちに芽を摘もうと子ども達からのいじめのサインを見逃すことなく、即学校と親が連携して行動に移すということに努力している。

答・町長 複雑な社会環境の中、家庭と学校(地域)との連携が必要かつ重要、

真剣に対応しなくてはならないと感じている。

カウンセラーだけでは受け身積極的ないじめ予防策は

問・いじめ相談のためのカウンセラーだけでは受け身である。積極的ないじめ予防策があるのか。

答・教育委員会事務局次長 年度、県で児童生徒の主体的ないじめ防止活動支援事業が計画され、町でも参加を予定している。また町全体でも子ども達自身による子ども達のためのいじめ防止の事例発表やスローガンなどを検討したいと考えている。

先生の体罰についての  
県教委アンケート調査結果は

問・昨今マスコミで取り上げられている先生による体罰については、県教育委員会を通して、全小中学校へアンケート調査があったと聞いたが。

答・教育長 アンケート調査はあった。保護者の方々に具体的に書いてもらい封筒に入れて、担任は開



▲なくならないいじめ

問・高崎市教育委員会が急性アレルギー反応に対応する研修会を行ったと新聞報道された。町では、実施しているのか。

答・教育委員会事務局次長 町でも児童に対する急性アレルギー反応に備え、該当する学校の全職員に対して講習を行い、万が一に対応できるよう体制は整えている。

### 予算編成方針を理解し、最大限の効果を入材の育成を図り、意欲と能力を引き出す



予算編成方針にあたり  
職員への周知徹底は

問・予算編成については、まず町長から出される予算編成方針を全職員が理解し、予算作成業務に取り組むことが重要である。編成方針の職員への周知徹底の方法は。

答・企画財政課長 課長会議で編成方針を説明している。また庁内メール、課・係内における会議を経て、担当職員が作業に入る仕組みとなっている。厳しい財政状況の中で、25年度予算の最大のポイントは何か。

答・企画財政課長 限られた

財源の中で事業の優先順位を考慮し、重点的・効率的に予算を配分する。基本的には中期事業推進計画の実施計画を実現できるように配慮する。

問・予算編成に関する課内の議論は、係を中心に活発に行われているのか。作成に向けてのコミュニケーション力が問われることになるが。

答・企画財政課長 予算立案は係長を中心として、所管する事務事業の予算見積もりを実施し、課内で精査・検討を行う。また周辺自治体との住民サービスの格差が生じないよう編成する。最終的には実施計画との整合性、事務事業評価が反映されているかが重要となる。

問・予算編成過程は透明性の

欠如、密室の秘儀と言われている。公開についての功罪は多々あると思うが、予算質疑の活発化・職員の緊張感・住民自治に対する意識の高揚等も考えられる。今後の方針を聞きたい。

答・企画財政課長 今後公開できるよう検討したい。

答・町長 公開については功罪を見極め、少しでも透明性が高められるよう努力したい。

地方分権時代に対応した  
職員教育について

問・役場は町内最大のサービス産業と言われ、労働集約型の構造である。数ヶ月を要して立案された予算・事業を、最小の経費で最大の効果を生み出す

ためにも人材の育成を図り、職員の意欲と能力を最大限に引き出すことが求められている。国・総務省では「人材育成基本方針」の策定を各自治体に通達し、地方分権時代に対応した職員の育成を推進している。当町の策定経緯と職員教育について聞きたい。

答・総務課長 当町では人材育成基本方針は策定されていない。策定することにより、体系的な教育が可能となり、求められる職員像を明確にし、人材育成を図ることは重要であると考えられる。

問・当町における現在の人材育成計画は。

答・総務課長 24年度から人事評価制度を導入し、「目標管理」を取り入れて実施している。また、研修の基本計画として職階、職務、専門職別の研修も実施している。

問・当町における職位・等級、それに基づく職務分掌(業務内容・権限・責任の範囲)は、どのようになっているのか。

答・総務課長 役場組織は課

制で運営。職階別では1級から6級、役職別では課長・課長補佐・係長・係員となっている。職務分掌については個々の課の業務内容を明確にすると同時に、係における分掌事務も規定している。課長の職務は、課の統括という職務。係長までは職務の難易度で1級から4級に分類されている。職階や等級別による職務規定は作成されていない。

問・当町における研修体制の中で、職場外研修と職場内研修について聞きたい。

答・総務課長 職場外研修は新規採用職員、入庁6年から9年の職員を対象とした一般職員研修、新任係長研修、新任課長研修等階層別の研修を実施。また、政策財務、業務改善など、専門分野においても研修を実施している。職場内研修では、人事評価制度を活用して上司が部下と面談を行い、目標設定をして業務遂行に対する意識の向上を図っている。

## 一般質問

議会 2 日目  
3 月 12 日(火)

### ③ 川野辺達也 議員

例会  
定議

3 月

## ヤマダ電機が手がける分譲の進捗状況は 少子化に伴い、小学校の統廃合を問う



ヤマダ電機が手がける  
住宅分譲の進捗状況は

問・ヤマダ電機が手がけるスマニティータウン板倉東洋大前の進捗状況について伺いたい。

答・産業振興課長 ヤマダ電機が板倉ニュータウン内に展開している宅地開発、住宅建設、それと分譲、これらの進捗状況は朝日野 4 丁目地内に造成済みの宅地でモデルハウス 6 棟に着手している。また、ヤマダ電機が土地を購入して建て売り分譲を予定している区画が 28 区画ある。これらの住宅建設工事が進んでいる。

あわせてそらいる保育園の南側に 14 棟分の宅地開発も行っている。今後については、未造成の用地を取得し宅地開発を行うべく、現在企業局と町とで諸条件の確認、整理を行っている状況である。

ヤマダ電機の販売店舗  
板倉ニュータウンへの出店は

問・ヤマダ電機が出店する駅前店舗の時期と規模について伺いたい。

答・産業振興課長 ヤマダ電機の山田会長から、板倉にも店舗を出すという発言はいただいているが、出店時期や規模についても現在交渉を行っているものの、具体的な場所や規模などはつきりしていない状況である。

県企業局が運営主体となる  
メガソーラー事業の進捗は

問・メガソーラー建設の進捗状況について伺いたい。

答・産業振興課長 東武日光線の跨線橋の北側で、約 4・4 ヘクタールを建設している。今は造成という段階だが、今年度中に造成工事を完成させて、新年度早々からパネルの設置工事が開始される。企業局としては 7 月頃には運転稼働したいと聞いている。また買い取り価格については、現在の 42 円と伺っている。

答・町長 太陽光発電について 1 番心配される反射の問題があるが、入射角度、反射角度、その他精密なデータをとり、問題が出ないよう細部にまで細心の注意を払いながら設計、建設に取り組むと伺っている。

全国的に少子化傾向  
小学校への入学状況は

問・全国的な少子化傾向は当町でも例外ではないと思うが、今後の小学校への入学状況を伺いたい。

答・教育長 平成 24 年 5 月 1 日現在の調査になるが、特に北小と南小の入学児童が減少すると見込まれている。北小については、25 年度新入生は 13 人、26 年度 18 人、27 年度 6 人、28 年度 20 人、29 年度 9 人、30 年度 8 人。南小については、25 年度 13 人、北小同様に 12 人、12 人、15 人、21 人、20 人となり、北小のケースがやや心配される。

問・少子化に伴い小学校の統廃合について伺いたい。

答・教育長 少子化に伴う統廃合については、教育委員会では検討した経緯がある。そのときの意見は、小規模校のメリットを生かしつつ、地域の特性を生かした教育を行うことが望ましいということ

複式学級が確実に続く状況が予想された段階で、統廃合の議論を進めていく。今後の人口のバランス、あるいは児童数のバランスによって適正規模を考えたときには、見直していく必要がある。今は現在人口、児童数の推移をこのまま見守ってきたい。

小学校の統廃合に関し  
検討委員会を立ち上げては

問・今後、小学校の統廃合に関する検討委員会を立ち上げてはどうか。

答・教育長 問題が起こってからでは遅いので、近々検討して委員会を立ち上げたいと思っている。



▲ 7 月稼働に向けてのメガソーラー工事

## 一般質問

議会 2 日目  
3 月 12 日(火)

### ④ 青木 秀夫 議員

## 新庁舎建設は合併や人口減を視野に 将来の転用も処分も可能な自主財源で



将来の合併・人口減少社会を見据えて

問・庁舎建設候補地の答申も出て、いよいよ設計・建設という具体的な段階へと進展している。合併や人口減少社会を見据えると、多目的・転用可能な新庁舎を想定して、建設に当たるべきではないか。

答・町長 役場庁舎の関係については、私も議員の言わんとするところに同感である。庁舎は私の独断でなく、建設委員会を立ち上げてつくるつもりである。再三指摘を受けている合併問題も含めて、多目的方向性・応用性も

入れながら、後世に恥じない庁舎づくりを考えている。

建設資金は、損して得とれ方  
式の補助金なしの自主財源で

問・板倉町財政の現状認識については町長と違っていると思うが、庁舎建設資金についてはそれほど心配ないのではないかと  
思っている。10 年、20 年先の転用・売却も考えると、ひもつきとなる補助金など受けずに、自主財源による庁舎建設の方が損して得とれという結果になるのではないか。

答・町長 庁舎建設資金については、この 4 年間一定の額も積み立てたということ、また、補助金については受けられないだろ

うということも踏まえて、あくまで借り入れも含めた自己資金での建設を考えている。資金的には第三者に拘束されない自己責任で展開できるであらうと、また、展開したいと思っている。

容疑濃厚なレセプトへの  
国・県の取り組み・姿勢は

問・板倉町国保特別会計への膨大な枚数の医療費請求書（レセプト）の中から、虚偽・不正の疑いのあるレセプトを見つけ出すまでの職員の努力は、評価しなければならぬ。しかし、当議会で虚偽・不正の疑いのあるレセプト問題が指摘されて 1 年以上経過している。虚偽・不正のレセプトを出した

医療機関へのその後の対応はどうなっているのか。調査はすでに終了しているのか。それともまだ調査中で、結論に至っていないのか伺いたい。

答・健康介護課長 不正の疑いのあるレセプトを、群馬県国保援護課に何回か問い合わせたところ、群馬県及び厚生労働省が、指摘された医療機関に指導・監督を実施しているという感触を持っている。

警察力（一罰百戒）で  
医療費削減を

問・昨年度の国民医療費 38 兆円。将来 50 兆円、60 兆円にもなると予測されている。バケツの底に穴のあいているような医療費支払制度、その中の医療費抑制策は、虚偽・不正によって支払われた医療費を、保険金詐欺として警察へ被害を届けて、警察の力に委ねることであると思う。刑事罰は行政罰と違って、保険金詐

欺の抑制・防止に効果満点、「一罰百戒」の役割を果たすはずである。医療費の抑制には、まず警察に被害届を出すことではないか。

答・町長 議員が延々と述べている内容については、私も同じ認識を持っている。前議会の答弁も踏まえて本日本までの経過の中で、私自身も書類を持って警察署長ともしっかりと対話してきている。担当課長とも相談しながら、どのような方法をとるべきかの最終判断をしなければならぬ。議員が指摘するような被害届を出すかどうかの判断も、そう遠くない時期にしなければならぬだろうと



▲ 昭和 33 年に建設された役場本庁舎

## 一般質問

議会 2 日目  
3 月 12 日 (火)

### ⑤ 秋山 豊子 議員

## 学校施設の非構造部材の耐震対策は万全か 役場窓口業務の改善について



中小学校の体育館の  
天井落下防止対策について

問・学校施設は子どもの学習  
や生活の場であるとともに、災害時には地域住民  
の緊急避難所としての役  
割を果たすため、その安  
全性の確保は極めて重要  
である。本町の小中学校  
体育館の天井落下防止対  
策の加速化について伺い  
たい。

答・教育委員会事務局 国  
から平成 24 年 9 月 18 日付  
で、公立学校における天  
井等落下防止対策等の加  
速化について通知があつ  
た。これは東日本大震災  
のときに東北地方を中心

に、中でもつり天井の体  
育館の屋根が落ちて被害  
が大きかったことで、早  
急に点検を促す通知であ  
る。板倉町の小中学校の  
天井面積は大変大きい  
が、つり天井ではないの  
で目視等の点検で確認し  
ている。

問・目視で確認していると言  
うが、直接的に徹底した  
調査をすることが安全に  
繋がるのでは。

答・教育委員会事務局 建  
築基準法の適用もあり、  
2 年に 1 度細かく非構造  
物関係の点検が入り、そ  
の時に、照明器具、取り  
付け金具、体育館のバス  
ケットゴールなど業者に  
よる点検を行っている。

進まぬ非構造部材の耐震化率  
小中学校での本町の現状は

問・全国の公立小中学校を調  
べたところ、照明器具、  
内外壁、設置機器、窓ガ  
ラスなどの非構造部材の  
耐震化率が 32 % にとど  
まっている。学校の構造  
体の耐震化が 85 % まで進  
んで、建物自体の強度が  
高まっているのに比べ、  
天井や照明の落下による  
2 次災害を防ぐ取り組み  
は大変遅れている。本町  
の現状は。

答・教育委員会事務局 学  
校の現状は、照明器具、  
窓ガラス、内外壁、エア  
コンなどの室外機や家具  
等が主なものと認識して  
いる。照明の取り付け金  
具の腐食、変形の点検、  
窓ガラスは強化ガラスで  
あると大変費用がかかる  
ため、サッシのパッキン

グ、コーティングのやり  
直し、ガラスの破損、ひ  
び割れの点検、エアコン  
の室外機はアンカーボル  
トを深く打ち、転倒を防  
いでいる。家具類につい  
ては、金具を使って転倒  
を防いでいる。

問・東日本大震災の発生時に  
は、公立学校の天井材の  
被害が 1,636 校、照明  
器具が 410 校、内外壁  
968 校ある。非構造部  
材の耐震点検は全国小中  
学校の 4 割弱は実施して  
いない。国でも小中学校  
の安全安心を推進してい  
る。国の補正予算を積極  
的に使って、子ども達の  
安全安心の対策に使うべ  
きと考えるが。

答・教育委員会事務局 補  
助金があれば再度内容を  
検討し、できる物は実施  
していきたい。

町民の利便性を図ることが  
窓口案内では大事なこ

問・窓口への案内をワンス  
トップで対応し、来庁者  
の話をよく聞いて、本町  
の窓口で対応できるも  
の、またできないものに

ついてはどういう窓口を  
利用したら良いのか。近  
隣の市町の窓口か、国・  
県の窓口なのかも含め所  
在の案内、電話番号など、  
来庁された町民の利便性  
を図ることが大事では。  
また小さな子どもや乳幼  
児を連れて来庁された場  
合、ベビーカーや子ども  
用イスを用意してはどうか。

答・戸籍税務課長 国・県に  
関する部分も、極力住民  
サービスに努めていると  
自負している。ベビー  
カーや子ども用イスにつ  
いては、安全性を確認し、  
考慮していきたい。

事例のない相談でも  
親切な対応に努めるべきでは

問・事例のない新たな相談や  
手続きが増えてくる事を  
想定し、親切丁寧な窓口  
業務に努めるべきでは。  
答・戸籍税務課長 今回の件  
は事例的に難しかった。  
中身も含めて、案内した  
と理解しているが、結果  
的に町民に精神的な迷惑  
をかけた。今後指導して  
いく。

## 資源化センターの将来の活用方は 館林消防組合本部の今後について



新しいごみ処理施設の稼働後  
資源化センターの活用は

問・衛生施設組合のごみ処理  
の関係で焼却施設は館林  
市、リサイクル施設は板  
倉町、そして最終処分場  
は明和町と決まったが、  
平成 29 年稼働後に資源化  
センターの建物を壊すの  
ではなく、利用価値があ  
れば総合体育館という話  
もある。具体的な活用方  
法をわかる範囲で答弁い  
ただきたい。

答・町長 昨日の所信表明で  
触れたとおり、新しいご  
み処理施設は平成 29 年度  
に稼働する計画である  
が、資源化センター施設



▲建築面積約 2,800㎡ の  
資源化センター

は、事務所（研修施設）  
を含め有効活用できない  
かと考えた時に、板中体  
育館と小中学校の体育館を  
組み合わせのできる大き  
さである。耐用年数 50 年  
から比較すると、新しい  
施設稼働後でも 30 年位は  
使えることになる。内部  
の機械をきれいに片づけ  
て改装すれば、総合体育  
館として利用できる可能  
性を模索している。耐震  
は合格しているから、で  
きないことではないと思  
う。本年度はそのための  
調査を実施する。

問・確認であるが、調査や見  
積りを含めた結果がでる  
のはいつごろになるの  
か。

答・町長 調査結果が 25 年度  
中には間違いなく出ると  
思う。それによつて方向  
性がどうなるのか。総合  
体育館として、利用する  
ことが可能になるのかど  
うかも含め、今年中には  
判断ができると思う。そ  
の時はもちろん経過も含  
め、議会にも報告したい  
と思っている。

館林地区消防本部の建設計画  
現状をどう考えているのか

問・館林地区消防組合本部の  
建設予定についてである

が、各町の消防施設は昭  
和 46 年前後に作られた建  
物であった。板倉消防署  
は平成 21 年、明和消防署  
は平成 19 年、千代田消防  
署は平成 22 年、邑楽消防  
署は平成 20 年に新しい消  
防署がつくられた。館林  
地区消防組合本部は、昭  
和 49 年に建てられて現在  
に至っている。館林消防  
本部に行くと言は落ちて  
いるし、また狭いと感じ  
ている。消防業務の中で  
機能が発揮できない。予  
防消防、安全、安心を含  
めて難しいかと思うが、  
副管理者としての現状を  
どう考えているのか伺い  
たい。

答・町長 館林消防本部は昭  
和 49 年から使用している  
という話は伺っている。  
我が町の庁舎よりも 10 年  
以上後に建っているとい  
う比較もできる。建設予  
定地の特定では、各町に  
とつて遠くなる、近くな  
るが、どうしても出ると  
思う。特に消防署につい  
ては 1 分圏、3 分圏ある  
いは 10 分圏で、時によれ  
ば生死がはかりにかけら  
れる状況でもある。同じ



▲平成 21 年に建て替えられた板倉消防署

## 議 会 日 誌

## ◆2月

- 3日 板倉町賀詞交歓会
- 6日 邑楽郡町村議会議長会臨時会  
邑楽館林地域施策推進協議会
- 8日 館林衛生施設組合2月臨時議会
- 14日 板倉町小学校学習発表会／邑楽郡議会議員研修会
- 15日 東広圏全員協議会
- 18日 群馬県後期高齢者医療広域連合定例会
- 19日 議員協議会(2月)／板倉町人権教育推進公開研究会
- 20日 群馬県町村議会議長会定期総会  
館林地区消防組合議会議員視察研修(20～21日)
- 25日 議会運営委員会／議会改革特別委員会
- 26日 板倉町教育研究所報告会／庁舎基本計画検討委員会

## ◆3月

- 1日 板倉高校卒業式
- 5日 板倉町総合農業振興協議会総会
- 7日 庁舎基本計画検討委員会
- 11～21日 3月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会、  
所管事務調査)、議員協議会、議会広報特別委員会
- 13日 板倉中学校卒業式／館林衛生施設組合全員協議会
- 15日 館林邑楽地域県政懇談会
- 22日 町内小学校卒業式
- 25日 路線バス幹事会
- 27日 一部組合議会定例会
- 28日 東広圏理事会／郡議長会定期総会・行政懇談会

## ◆4月

- 1日 辞令交付式
- 3日 議会改革特別委員会
- 5日 板倉・北保育園入園式
- 7日 板倉消防団辞令交付式
- 8日 町内小学校・板倉中学校入学式
- 16日 議会広報特別委員会
- 18日 議員協議会(4月)
- 23日 館林医療事務組合議会議員病院視察研修

## ◆5月

- 2日 議会運営委員会
- 10日 臨時議会／議員協議会
- 14日 新正副議長あいさつ回り
- 16日 玉村町議会行政視察研修受け入れ  
郡町村議会議長会臨時会
- 20日 議員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会(28～29日)
- 29日 群馬県町村議会議長会臨時総会及び議会議長・事務  
局長研修会(29～30日)
- 31日 議会改革特別委員会



▲玉村町議会が来町、観光と環境について意見交換



▲議会でも新庁舎候補地を現場確認

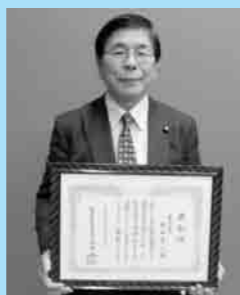
平成25年3月7日、庁舎基本計画検討委員会から役場庁舎基本計画が町長に答申された事項を受けて、5月10日(金)の議会臨時会終了後に臨時の議員協議会が行われました。会議では、新庁舎基本計画検討委員会から答申された新庁舎の建設候補地である中央公民館周辺の視察を含め、町から提案された候補地の協議を行いました。

協議の結果、答申された条件に沿った場所として議会側も新庁舎建設予定地を「中央公民館の南側・町道1-12号線の西側」とすることで了承しました。

◆答申された主な条件

- ①新庁舎建設用地に必要とされる敷地面積約15,000㎡の要件を満たす。
- ②土地の標高は、約17mを超えており、洪水時の浸水水

- ③中央公民館・保健センター・海洋センターとの一体的な利用により、町民の利便性向上が図られる。
- ④ほ場ごとの段差が少ないことに加え、地盤が比較的強固な土地であるため、造成工事にかかる費用を抑えることができる。
- ⑤町の中心部に位置するため他の行政機関とのアクセスが良好である。



## 県町村議会議長会表彰

議員在職10年以上の一般表彰基準で「群馬県町村議会議長会自治功労者表彰」を野中嘉之議長が受賞されました。今後とも町政発展のため、なお一層の活躍をご期待いたします。

## ◆新庁舎建設用地を議会側も了承

視察研修  
レポート

## 議会改革に向けて先進地を視察研修

神奈川県大磯町議会 1月30日(水)

神奈川県開成町議会 1月31日(木)

会 議 修  
議 改 研

## 議会報告会で住民の声を



▲相模湾に面した歴史ある大磯町、議員間交流を通し議会改革の本質を学ぶ

議会改革特別委員会では、1月30日に神奈川県大磯町議会へ訪問し、議会基本条例制定後の先進地の取り組みを学びました。

大磯町議会では、議会基本条例(平成21年11月1日施行)を大磯町議会の最高規範と定め、議会運営のルールを守り、実践することによって、町

民福祉の向上と豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的としています。

条例施行から2年が経過する中で、町民から信頼される議会を目指し、議会の説明責任を果たすため、平成22年から毎年5月に、議会報告会を実施しています。また、テーマを決めて意見交換を行う一般会議を行うなど、議会が議員がふれ合う機会を設けて住民の声を取り入れています。さらに、議案や議員のご賛否結果をホームページに掲載するなど、積極的に議会改革を進めています。

開成町は、板倉町の1/6程度の大きさで神奈川県下で一番小さい町。人口規模はほぼ同程度。議会基本条例は、平成22年4月1日から施行され、積極的に議会改革を進めています。

この条例の目的は、議会及び議員の活動の活性化と充実のために必要な議会運営の基本事項を定

め、町民参加を基本とする開かれた議会を実現することを目的としています。

開成町議会は、二元代表制の実効性を高め、町政運営の基本原則であるあじさいのまち開成自治基本条例における議会及び議員の責務を常に自覚し、最良の意思決定を行うことにより、地方自治の本旨の実現を使命として活動するものとされています。

また町民の代表機関として、独自の議会運営ルールを定めて、町民と歩む協働型議会を目指しています。

議会改革特別委員会 荒井英世記

会 議 修  
議 改 研

## 通年議会で積極的な活動



▲あじさいの里として知られる開成町、日曜議会を開催し住民の声を聞く

た議会を目指し、議会改革に取り組んでいる事項として、①「日曜議会」を実施 ②「一問一答方式」の導入 ③「通年議会」の導入 ④町長に「逆質問権」を付与 ⑤「議会報告会」の開催など、議会改革に取り組んでいます。

通年議会制度を導入した利点としては、議会が主体的・機動的に、その機能を十分に発揮することができ、いつでも即対応ができることや議会活動の幅を広げることなどが挙げられます。

町議会でも議員間で協議検討を進めながら良いものを積極的に取り入れていきたいです。

町

発展のために町と町民全員が丸に

「真つすぐに素直な板倉の子ども」

大字大高嶋 中山浩一さん



私は元々他の県に住んでいましたが、約20年前学生時代に妻と知り合い、初めて板倉町を知りました。関東の山々を望める広く大きな田園地

帯、鉄道や高速道路が近く、大変便利な土地がすぐに気に入る、妻の実家にお世話になることになりました。また、3年前から子ども育成会活動を通して、未来を担う子ども達と地域や学校との結びつきを強く感じ、昨年からは地元消防団の一団員として、地域の安心安全を担っているこ

とに誇りを感じています。町政への願いは、この自然豊かな板倉町と、真つすぐに素直な板倉の子ども達がつまでも変わらぬ良さを保持しながら、更なる町発展のために町と町民全員が丸になつて取り組んで行けるように、導いていただきたいと思います。

楽

しい思い出を積み重ねることに感謝

「充実した毎日を楽しく過す」

大字海老瀬 飯田康子さん



館林市より嫁いで30年近くになります。ご近所の方々と交流を始めに、学校・育成会・町行事・ボランティア活動等を通してのお友達が増

え、充実した日々を過ごさせていたいております。昨年の暮れに中学校の同窓会があり、懐かしい顔ぶれが揃いました。千代田町で校長先生をしている同級生が、かつて板倉中学校赴任中でのエピソードを話しており、板中の子ども達は皆いい子だった。子育てをするなら板倉町

が最高だと話しております。3人の子どもはみんな社会人となつて、元気に働いています。町内の方々は本当に温かい方ばかりなので、楽しい思い出を積み重ねながら暮らせることに感謝しております。板倉町は広大な土地があるので、もっと企業誘致が進むといいなと思います。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます  
“議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会は6月11日(火)からの開催を予定しています。

議会傍聴のお問い合わせは、役場議会事務局、電話82-1111 内線511番までお気軽にお電話ください。

期日	会議名	開議時刻	事 項
6月11日(火)	本会議	午前9時	定例会(初日)
6月12日(水)	本会議	午前9時	一般質問
6月13日(木)	委員会	午前9時	総務文教福祉常任委員会(所管事務調査)
6月14日(金)	委員会	午前9時	産業建設生活常任委員会(付託案件審査及び所管事務調査)
6月15日(土)	休 会		休 会
6月16日(日)	休 会		休 会
6月17日(月)	休 会		自宅審議
6月18日(火)	本会議	午前9時	定例会(最終日)

編 集 後 記

広大な渡良瀬遊水地を見るとき、思い出されるのは田中正造です。今年は正造が亡くなって、百年目になります。正造といえば足尾銅毒事件ですが、明治期足尾銅山から流れ出る鉱毒は、渡良瀬川の魚類を死滅させ、田畑の作物を枯らし、沿岸農民の生活は困窮を極めました。農民は鉱業停止そして被害地救済の請願を何度も政府に対して出しますが受け入れられず、数度の直接請願を実施します。特に有名なのが明治33年の「川俣事件」です。川俣事件は被害民約3千人が参加しますが、板倉町でも永島与八や荒井嘉衛等数多くの人が参加しています。渡良瀬遊水地は板倉町の核となる観光資源ですが、また、板倉町の近代史そのものといえます。(議会広報特別委員 荒井英世記)